

編集後記

コロナ禍の最中で引き受けたプラズマ・核融合学会誌の編集委員の仕事は、韓国語が母国語であるわたしにとって、相当高いハードルであった。日本語の文書を書き始めてから10年にも満たないわたし、今振り返ってみると、プラ・核の編集委員を引き受けるだなんて、とても勇気ある選択であったと思う。いったいこの仕事を引き受けたきっかけは何だったのか。今思えば、わたしを委員に推薦してくれた同分野の編集委員たちと、はじめの一年は一緒に仕事ができるから、その安心感からだったかもしれない。そして、学会誌に自分の専門分野以外の内容を数百字も書くのは初めての経験だが、新しいことへの挑戦は、いつだってわくわくする。

さて、人類の歴史の中で文字がなかったら、現在の我々の文明は存在しなかっただろうし、文字があっても読者がいなければそれは変わらないだろう。特に学会誌の編集後

記って、わたし自身はこれまで精読した覚えはほとんどない。いつも目次と、自分の研究分野と関連する分野の記事しか目にしていないような気がする。学会誌の一番最後のページの数百字を通して、我々編集委員は読者に何を伝えるべきか。まず、このページまで読み進んでくれた読者への感謝と、そして、「これからもよろしくお願いします」の気持ちを伝えるべきだと思う。個人的には、読者の中に日本で活躍している外国人の研究者や学生がいるならば、研究や教育以外の形でも当分野に貢献できることがわかっていただけると、わたしはとてもうれしく思う。

最後に、およそ10か月後、2022年6月号から3回に分けて当学会誌に掲載予定のプラズマ応用分野 (Applied Plasma Physics, APP) の講座『質量分析法を用いた大気圧プラズマ診断の基礎』が無事に読者の皆さんのお手元に届くことを願って、今回の編集後記を終えます。(呉 準席)

プラズマ・核融合学会 役員

会 長：竹入康彦
副会長：安藤 晃 (推薦委員長：学会賞，研究部会連絡会委員長) 米田仁紀 (推薦委員長：研究助成，男女共同参画委員長)
常務理事：市口勝治 (総務委員長)
理 事：荒巻光利 (編集委員長) 出射 浩 大勢持光一 (財務委員長) 金子俊郎 (企画委員長)
木戸修一 兒玉了祐 小西哲之 白藤 立
花田鷹砂也 林 伸彦 (広報委員長) 藤田隆明 横峯健彦
渡邊隆行 (企業展示検討委員長，支部・地区研究連絡委員長) 和田 元 (年会運営委員長)
監 事：前田達志，立松芳典

プラズマ・核融合学会 領域長

基礎 荒巻光利(日大) 応用 渡邊隆行(九大) 核融合プラズマ 藤田隆明(名大) プラズマ炉工学 小西哲之(京大)

プラズマ・核融合学会誌編集委員会

編集委員長・チーフエディタ：荒巻光利(日大) 副委員長：出射 浩(九大)
エディタ：古閑一憲(九大)，比村治彦(京都工繊大)，波多野雄治(富山大)，重森啓介(阪大)，藤田隆明(名大)，村上定義(京大)
編集委員：安倍勇輝(阪大)，諫山翔伍(九大)，板垣宏知(産総研)，井戸 毅(九大)，上野一磨(中京大)，占部継一郎(京大)，枝尾祐希(量研)，呉 準席(大阪市大)，大谷芳明(量研)，加藤雄人(東北大)，河村学思(核融合研)，小林政弘(核融合研)，近藤康太郎(量研)，佐久間一行(弓削商船高専)，佐藤直木(東大)，柴田崇統(高エネ研)，鈴木陽香(名大)，辻井直人(東大)，中村浩隆(阪大)，畑 昌育(量研)，藤原 大(NTT)，前山伸也(名大)，水口直紀(核融合研)，向井啓祐(京大)，本村大成(産総研)，森高外征雄(核融合研)，矢嶋美幸(核融合研)

乱丁・落丁本は、ご面倒ですが学会編集委員会宛ご送付ください。送料当方負担にてお取り替えいたします。

プラズマ・核融合学会誌第97巻第10号

編集・発行
〒464-0075 名古屋市中種区内山3丁目1-1 4階 印刷 株式会社荒川印刷
一般社団法人 プラズマ・核融合学会 編集委員会 2021年(令和3年)10月25日
Tel. 052-735-3185 Fax. 052-735-3485
E-mail: plasma@jspfor.jp URL: <http://www.jspfor.jp/> 定価1,430円(本体1,300円)

本誌に掲載された寄稿等の著作権は一般社団法人プラズマ・核融合学会が所有しています。